

令和6年度 1 学期 生徒授業評価アンケート

教科名	保健体育	重点目標	男女共修を適切に行うための、種目に応じた指導法の充実と評価の一体化を計る～指導法を共有し、個別最適な学びと協働的な学びの指導および評価のブラッシュアップを目標とする。
学習指導に関する現状と課題（1 学期・生徒による授業評価アンケートより）			
1 年 保健体育			
0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100% 教科の内容をわかりやすく(楽しく)教えている 説明の声の大きさは適切である 授業中、作業する時間やグループで話し合う時間を十分にとっている 授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている 教材や指導方法が工夫されている ■あてはまる ■ほぼあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない			
分析	1 年 1 学期は、「守破離」の「守」にあたる、安全第一の授業規律とその流れ（型）を重点に指導した結果、話し合い活動の部分ではグラフの伸びが鈍かったと思う。また、2 学期以降は球技・武道も予定しているので、より「協働的探究」の時間を確保していく。 「目から鱗」の技術指導と、「じっくり待つて結果を導き出す」より良いプレー内容を、厳しさの中にも楽しさありで、今後も取り組む予定である。		
2 年 保健体育			
0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100% 教科の内容をわかりやすく(楽しく)教えている 説明の声の大きさは適切である 授業中、作業する時間やグループで話し合う時間を十分にとっている 授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている 教材や指導方法が工夫されている ■あてはまる ■ほぼあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない			
分析	1 年次ではあまり男女差を意識せずにできたが、2 年生になり男女の能力差に男女共修の難しさを感じる。1 学期は、体育祭があり、陸上競技中心となったため、このような結果になった。2 学期は、球技などグループで行う種目もあるので、教材を工夫し、活動量を多くしていきたい。		
3 年 保健体育			
0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100% 教科の内容をわかりやすく(楽しく)教えている 説明の声の大きさは適切である 授業中、作業する時間やグループで話し合う時間を十分にとっている 授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている 教材や指導方法が工夫されている ■あてはまる ■ほぼあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない			
分析	男女共修による授業が2 年目となり、まだまだ指導法に戸惑いがあり、手探りでやっている。男子は説明より体を動かしたい、女子はきめ細やかな説明がないと動けないという男女差をいかに工夫して行かか今後の課題である。1 学期は、集団行動を中心に全体で行うことを行ってきたので、2 学期は、グループによる学習を増やし、主体的に学ぶ場面を多くしていきたい。		